



環境省との意見交換会(H29.1.10)

任意団体 グリーン連合

環境NPO/NGOの 課題横断的な連携強化を通じた 社会的影響力の向上

入門助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

配布した市民版
環境白書部数

950部

ステークホルダーとの
意見交換会回数

3回

活動の全体目標に
対する達成度

80%

課 題

日本の環境NPO/NGOの社会的影響力は決して大きくない。個別の課題に取り組むNPO/NGOの力を、政治、行政、マスメディア等へ十分に影響力を持てていない。

目 標

環境NPO/NGOが個別課題を越えて、包括的な政策提言が行えるよう、能力向上を図り、連携できる協力体制を構築すること。また政策決定に関わるステークホルダーとの関係性、連携性を強化すること。

活動内容

- 課題横断的な視点と市民活動の視点を活かした、市民版環境白書(1,000部)を制作、発刊した。
- 国会議員、省庁(環境省)、マスメディアとの意見交換会を開催し、政策決定に関わるステークホルダーとの情報・意見交換の定期的実施を通じて関係性と連携を強化した。
- 全国5箇所(札幌、仙台、富山、大津、岡山)で学習会・交流会を開催し、協働創出に向けたワークショップや交流会を開催し、連携強化を図った。



地域交流会(富山/H28.12.4)

達成できなかったこと

地域での学習会・交流会の中で、アドボカシー力向上の研修は実現できなかった。原因は、地域の団体にとって「政策提言」に対する心理的ハードルが高かった。

今後の展望

グリーン連合の加盟数を150~200団体にしたい。数は力なり。影響力を有するだけの組織化を実現する。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・課題包括的な「市民版環境白書」が発刊できたことで、政策提言能力が向上した。
- ・意見交換会の開催、白書の発刊などに取り組む中で、幹事として参加する団体(10団体程度)の協力体制は強化された。

工夫

ステークホルダーとの意見交換会については、継続的な開催が実現できる体制を構築するよう努めた。